



島根県子ども神楽交流事業「八戸」（温泉こども神楽）

教育しまね

2012年(平成24年)2月

Vol. 50

島根県教育委員会

特集

すごいぞ!!
しまねの歴史文化

すごいぞ!!しまねの歴史文化

平 成24年は、数多くの出雲神話が描かれた『古事記』が編纂されて1300年を迎えます。これを機に、島根県は、神話伝承など特色ある島根の歴史文化の魅力発信する「神々の国しまね」プロジェクトを平成22年度から25年度にかけて進めています。

県教育委員会では、この一環として、今年度ふるさと読本『いずも神話』の増刷・配布や県内の小・中学生の神話絵画コンクールを実施するなど、神話を活用したふるさと教育を進めました。また、高校生による文化発信事業や小中学生を対象とした神楽の後継者育成、伝承に関わる事業も行いました。

平成24年度も、新しいふるさと読本の作成、県内小・中学校等への配布や全国子ども神楽サミットの開催など、引き続き様々な事業を展開していきます。

これらの活動を通して、次の時代を担う子ども達に「しまね」の歴史文化をしっかりと伝え、ふるさとへの愛着や誇りを育てていきます。



島根県観光キャラクター「しまねっ子」



▲第1回(平成23年度)島根県神話絵画コンクール表彰式記念撮影

神話博しまね

会期
平成24年
7月21日(土)～11月11日(日)

開催時間
9:00～18:00(7月～10月)
9:00～17:00(11月)

入館料
神話映像館
大人有料 / 高校生以下無料
古代出雲歴史博物館
有料 ※高校生以下常設展無料
その他の施設
無料

お問い合わせ先
神々の国しまね実行委員会
TEL:0852-22-6757

よみがえる はじまりの物語

神話博しまね



島 根県では「神々の国しまね」プロジェクトのシンボリックなイベントとして、出雲大社周辺を主会場として「神話博しまね」を開催します。

古代出雲歴史博物館前の特設会場では、神話をテーマとした映像や伝統芸能を観ることが出来ます。また、博物館では、島根の歴史を学ぶことができます。

会期中、「神話映像館」及び古代出雲歴史博物館の小・中学生、高校生、特別支援学校生の入場料は無料となりますので、学校遠足や校外学習、公民館行事などで、お気軽にお立ち寄りいただき、学習の場としてご利用ください。

「優れた教育活動表彰」～おめでとうございます～

島 根県教育委員会は、本県教育の充実・発展に寄与する先進性や特色のある取り組み・本県教育に対する県民の信頼を高める取り組みを、「優れた教育活動」として表彰しています。

学校名	表彰の理由	学校名・団体名・教職員名(所属校)	表彰の理由
雲南市立西幼稚園	幼小・地域連携	益田市立益田中学校	ふるさと教育
松江市立母衣小学校	特別支援教育	安来市立伯太中学校	小中連携教育
松江市立雑賀小学校	道徳教育の推進	邑南町立石見中学校	学校図書館教育
出雲市立中部小学校	道徳教育の推進	奥出雲町文化体験実行委員会	ふるさと教育
大田市立志学小学校	ふるさと教育	吾郷 満子(出雲市立西野小学校)	学校事務
隠岐の島町立五箇小学校	道徳教育の推進	黒田 都(松江市立内野小学校)	音楽教育
松江市立玉湯中学校	言語活動	多久和 祥司(出雲市立平田中学校)	新聞記事活用
浜田市立第二中学校	人権・同和教育	前廣 清美(隠岐の島町立五箇中学校)	学校給食・食育

「文部科学大臣表彰」～おめでとうございます～

文 部科学省は、特に優れた実績をあげた教員、キャリア教育において顕著な功績が認められた学校や教育委員会、実績を上げているPTA等を表彰しています。

【優秀教員表彰】

教員名(所属校)	表彰の理由	教員名(所属校)	表彰の理由
藤井 和子(吉賀町立林木小学校)	学校給食・食育	田中正 樹(島根県立隠岐高等学校)	理科教育
土佐 泰司(石見縣立隠岐高等学校)	学習・進路指導		

【キャリア教育優良学校等表彰】

江津市立青陵中学校 島根県立出雲商業高等学校
キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められました

【キャリア教育推進連携表彰(優秀賞)】

島根県立隠岐島前高等学校
平成23年度に文部科学省と経済産業省が創設した表彰で、学校関係者と地域・社会や産業界の関係者が連携・協働したキャリア教育の取り組みが認められました
※キャリア教育:一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

【優良PTA表彰】

島根県立松江養護学校PTA 松江市立川津小学校PTA
大田市立川合小学校PTA

【優れた「地域による学校支援活動」表彰】

浜田市 岡見小学校への学校支援活動
(三隅中学校区支援地域本部・岡見公民館)
益田市 西益田地区教育協働化推進本部
江津市 渡津小学校

教育委員会だより

平 成23年9月8日、県教育委員会委員5名が邑南町で開催された「赤ちゃん登校日」の公開授業を視察しました。

「赤ちゃん登校日」は、鳥取大学医学部の高塚 志准教授が考案した体験型学習プログラムで、児童が赤ちゃん(0歳児)とその親との継続的な交流を通して、赤ちゃんの成長やいのちの尊さを心と肌で実感しながら、コミュニケーション(お互いの考えや気持ちを理解し合うこと)を学び、人の愛情に気づくなど、人間関係力を学ぶ授業です。

この日矢上小学校5年生は、赤ちゃんのお母さん・お父さんから話を聞いた後、初めての赤ちゃんとのふれあいを体験しました。初めのうちは赤ちゃんとの



▲授業を視察する北島委員長

の接し方に戸惑いながらも、抱っこをしたりあやしたりしながら、一生懸命赤ちゃんに向き合おうとしていました。

この授業は、邑南町の子育て支援課と教育委員会、矢上小学校が連携して準備され、町内で初めて実施されました。

子ども読書活動推進事業
学校図書館活用教育フォーラム開催

平 成23年11月11日(金)、12日(土)の両日、島根県民会館を主会場として「しまね学校図書館活用教育フォーラム」を開催しました。県内外19都府県から延べ1,200人を超える参加を得、全国に向けて島根県の学校図書館活用教育について情報発信することができました。

島根県では平成21年から子ども読書活動推進事業を展開し、全小・中学校に学校図書等を配置することにより「人のいる学校図書館」を目指しました。今では県内ほとんどの学校に学校図書等が配置され、温もりの生まれてきました。

島根県では平成21年から子ども読書活動推進事業を展開し、全小・中学校に学校図書等を配置することにより「人のいる学校図書館」を目指しました。今では県内ほとんどの学校に学校図書等が配置され、温もりの生まれてきました。

今回のフォーラムでは、各学校等での取り組みについて研修する分科会や子どもたちによる学校図書館についての意見発表、県知事からのメッセージの発信やシンポジウムなどを行い、学校図書館活用教育に関する研修を深めました。

今回のフォーラムでは、各学校等での取り組みについて研修する分科会や子どもたちによる学校図書館についての意見発表、県知事からのメッセージの発信やシンポジウムなどを行い、学校図書館活用教育に関する研修を深めました。

がんばっています!「総合型地域スポーツクラブ」



▲「ドッジビー」を楽しむ小学生

■教室
剣道、野球、ミニバスケットボール、空手、ジュニアバレーボール、ジュニアフットサル、エアロビクス、ストレッチ、ヨガ、バドミントン、グラウンドゴルフ etc

■お問い合わせ先
川本町大字川本332-15
川本町教育委員会内
かわもとスポーツクラブ 事務局
TEL:0855-72-0594

かわもとスポーツクラブ (川本町:平成23年3月設立)

既 存のスポーツ少年団、ジュニアスポーツクラブ、スポーツ同好会等が中心となり「かわもとスポーツクラブ」は設立されました。今年度、新たにジュニアのバレーボール、フットサルの活動を開始するほか、多くのスポーツ教室やイベントを開催しました。写真は昨年8月に開催されたキッズキャンプの様子で、小学生を対象にミニスポーツ大会、カレー作り、落語鑑賞など、様々な体験プログラムを実施し、大変好評でした。スポーツで川本町を盛り上げる「かわもとスポーツクラブ」は皆さんとの交流を楽しみにしています!!

県内には30の総合型地域スポーツクラブがあります。(H24.1.4現在)お近くの総合型地域スポーツクラブについてのお問い合わせは
「しまね広域スポーツセンター」まで
TEL:0852-60-5053
HP :http://cgi.s-kouiki.jp

INFORMATION

公立高校における授業料無償化
県内の公立高校では、専攻科を除き授業料は徴収しません。ただし、教科書代、学級費、教材費等の授業料以外の学費については無償とはなりません。詳細は各公立高校でご確認ください。

県育英会高校等奨学資金の募集
高等学校(特別支援学校の高等部本科含む)・高等専門学校・専修学校高等課程に在学する県内出身生徒を対象とした制度です。
※要件および申し込み方法等は、各高校等でご確認ください。

区分	自宅通学	自宅外通学
国公立	18,000円/月	23,000円/月
私立	33,000円/月	38,000円/月

※私立高校については、高等学校等就学支援金制度や授業料減免制度があります。詳細は、各私立高校にお問い合わせください。

“こころ・発達”教育相談室のご案内(島根県教育センター)
不登校(園)や発達障がいをはじめ、さまざまなこころの悩みのあるお子さん、その家族の方、教職員の方からのご相談をお受けしています。医療が必要と考えられるお子さんの相談や紹介も行っています。

■電話による相談・来所相談の予約 月曜～水曜 10:00～16:30
■来所相談(臨床心理士による/予約制) 火曜日・木曜日
TEL:0800-200-1556(フリーダイヤル)
■出雲市立神戸川小学校・河南中学校 若松分校内に開設(島根県立こころの医療センター隣接)

神々の国しまね 古事記一三〇〇年

高校生による 文化発信事業

平 成23年度から25年度にかけて、高校生による文化発信のイベントや、高校生を対象にしたコンクールを行います。

○平成23年度
「神々の国しまね 高校生写真コンクール美術コンクール」
締切は2月24日です。先生と相談の上、奮って応募してください。

「神々の国しまね 高校生新聞」発行
松江南高校新聞部が取材し作成した新聞を、県内の公立高校・特別支援学校の全生徒に配布します。

○平成24年度(主なもの)
「神々の国しまねへようこそ! 高校生による文化発信ステージ」
平成24年8月18日(土)に大社文化プレイスうらら館で開催します。次の学校が「神々の国しまね」にちなんだ神楽や演劇などの公演を行います。

【神 楽】 浜田商業高校
浜田養護学校
三刀屋高校



▲高文連写真専門部撮影技術大会(神社での撮影)
神々の国しまね高校生写真コンクールに出品する作品の撮影を合同で行いました



▲三刀屋高校(創作劇「ヤマタノオロチ外伝」)
11月の中国大会で最優秀賞を受賞。来年度の全国高等学校総合文化祭(富山県)に出場が決まりました

【小倉百人一首かるた】 益田高校
【放 送】 出雲高校
【日本音楽】 松江北高校
松江南高校
大社高校

あわせて、専門高校の生徒が開発した商品や、県内の特産品の販売・展示を行います。

8月の本番に向けて、各校とも一生懸命準備をしています。皆様お楽しみに!

全国子ども 神楽サミット

鳥

根県は、出雲・石見・隠岐地域それぞれに特色ある「神楽」の歴史・文化を持ち、それを大切に守り、継承していく活動が盛んです。小・中学校では、地域の歴史・文化を学び、ふるさとを愛する心、誇りに思う心を育む「ふるさと教育」に積極的に取り組んでいます。



工房見学(植田蛇胴制作所)



「大蛇退治」(深野神楽子ども教室)

このサミットに参加する子どもたちが、日頃見ることでできない全国各地の「神楽」に触れ、交流を深めることで、自らが育つ地域の歴史、文化の素晴らしさに改めて気づき、継承していこうとする思いが一層深まっています。



「金山姫山動請」(土江子ども神楽団)

根県内の手すきの半紙と葉書の素晴らしさを感じるとともに、自分のふるまいのふりかえるきっかけにでもおとうと企画したコンクールです。小学6年生の書写部門には、6072名、中学1年生の絵手紙部門には、4900名が参加しました。厳正な審査を経て、それぞれ島根県知事賞、島根県教育委員会教育長賞、審査員特別賞、ふるさと賞、ふるまいの心く結果発表! がありました。

ふるさと書写絵手紙コンクール

ふるさとの和紙とふるまいの心く結果発表!



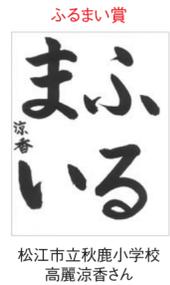
安来市立比田小学校 須藤珠里さん



浜田市立有福小学校 大崎彩香さん



松江市立乃木小学校 小川龍星さん



松江市立秋鹿小学校 高麗涼香さん



松江市立古志原小学校 恩田拓磨さん



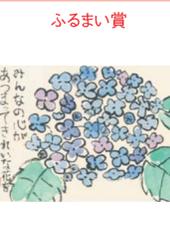
大田市立第三中学校 廣山幸音さん



大田市立第三中学校 渡利桃香さん



松江市立湖東中学校 青木みなみさん



安来市立第二中学校 藤山愛梨さん



松江市立玉湯中学校 安達秋花さん

古代出雲歴史博物館企画展 「青銅器に 魅せられた人々」

【こ】の春、島根県立古代出雲歴史博物館は開館5周年を迎えます。3月からの企画展では、銅鐸・銅剣等の弥生青銅器を本格的に初めて取り上げます。全国最多となる358本の銅剣が出土した荒神谷遺跡や、39個の銅鐸が出土した加茂岩倉遺跡など、数多くの青銅器が発見された島根県には、「青銅器のくに」があったとも考えられています。この展覧会では、全国各地を代表する青銅器を揃え、地域ごとの違いを紹介するとともに、青銅器の数にこだわった「青銅器のくに」の特異性を明らかにします。そして、青銅器に魅せられ、大量の青銅器を所有することに力を注いだ、弥生人の想いに迫ります。

企画展
「弥生青銅器に魅せられた人々
その製作技術と祭祀の世界」
平成24年3月16日(金)～
5月16日(水)

休館日は3月21日(水)、4月17日(火)
●問い合わせ先
島根県立古代出雲歴史博物館
TEL 0853・53・8600
FAX 0853・53・5350



【国宝】加茂岩倉遺跡出土銅鐸

「佐陀神能」が ユネスコ無形文化遺産 に決定

【佐】陀神能は平成23年11月、ユネスコ無形文化遺産代表二覽表に記載されることが決定しました。



「八重垣」の一場面

国の重要無形民俗文化財佐陀神能は、松江市鹿島町の佐太神社で演じられる400年近い伝統をもつ神楽です。9月24日夜の御座替神事に伴い、当日夜から翌日にかけて舞われます。

場を清める「七座」、祝いの舞の「式三番」、古代神話などを題材とした「神能」からなります。このような3部構成の形式など佐陀神能は出雲部の神楽に影響を与えています。また、同社の神職が慶長年間(1596～1615)に京都で能を学び、その様式を取り入れて整理したと伝えられ、能の要素を見ることが出来ます。

ユネスコ無形文化遺産は、日本に20件あり、島根県では浜田市の石州半紙に続き2件目です。

ふるまひ向上プロジェクト

隠岐の島町全小・中学校 で親学プログラムを実施

【隠】岐の島町教育委員会では、「親学プログラマー」を6名養成しました。そして平成24年度に小学校新1年生となる幼児の保護者を対象に、全小学校で就学時健康診断の機会を利用して、親学プログラム(※)を実施しました。



有木小学校での親学プログラム

参加者からは、「みんなも同じ子育ての中に話しているのって、楽しい時間があった。」「愛情を持ってしつけをしないといけないと思った。子どもが話を聞いて欲しがったら、まず自分も聞く体制をとるようにしたい」と思っています。といった感想をもらいました。

2月には、中学校の1日入学にあわせて、親学プログラムを全中学校で開催します。

※親学プログラムとは、保護者が親としての役割や子どもとの関わり方について、自ら気づき考えることを促すプログラムです。

●親学プログラムについてのお問い合わせは
東部社会教育研修センター
TEL 0853・67・9060
西部社会教育研修センター
TEL 0855・24・9344

ふるまひ向上を意識した 長期宿泊体験活動

【雲】南市立西日登小学校では、今年度初の試みとして5年生が地元西日登交流センターに宿泊しながら学校へ通う3泊4日の宿泊体験活動を実施しました。学校全体で取り組む「ふるまひ六ヶ条(元気なあいさつをしよう、みんなでなかよく活動しよう、などを意識しての取組です。また、そのねらいを達成するためにこの体験活動では、「待つ・任せる・見守る」ことを重視しました。



宿泊体験活動での夕食づくり

4日間の活動を通して、失敗を繰り返しながらも自分たちでやりぬくことで自信が付き、かわわってくださった方々への感謝の気持ちが大きく膨らみました。そして多くの課題を解決

子どもたちの人間関係が深まり、よりよいものとなりました。



2月22日は「竹島の日」 日韓両国の主張の違い

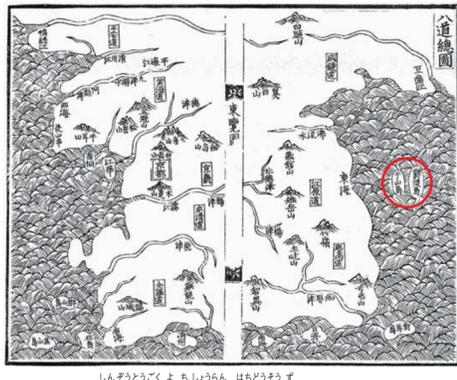
【歴】史的事実に照らしても、国際法上も日本固有の領土である竹島を、不法占拠している韓国のおもな主張は次のとおりです。

現在の竹島は「于山島」のことであり、6世紀から自国領であった。「日本の見解」
この主張は18世紀に朝鮮で編纂された「東国文獻備考」を根拠としています。もともとなら「東国輿地勝覽」(17世紀編纂)では「于山島」を鬱陵島としています。これより前に描かれた朝鮮の地図には「于山島」が現在の竹島の位置とは異なる、鬱陵島の西側に描かれています。(右下地図)これらのことから現在の竹島は「于山島」のことであり、自国領だと主張する韓国の主張は成り立ちません。

福の供述は信用できません。韓国の主張③
明治38(1905)年の竹島の島根県への編入は、日本の「侵略(韓国併合の第一歩)である。」「日本の見解」
編入以前に韓国が竹島を領有していたという史料はありません。竹島は江戸時代以降日本人によって平穏に利用されてきました。これらことから編入は侵略の第一歩ではありません。

戦後結ばれたサンフランシスコ平和条約でも、竹島は日本が放棄する地域に含まれませんでした。平和条約上も竹島が日本の領土であることが確認されました。

日本と韓国の真の友好関係を築くためにも、竹島問題の解決が必要です。



▲「新増東国輿地勝覽」(16世紀)